

11 月 1 日 : VN 指数は反発 (VN-Index +1.12%)

- VN 指数は昨日に引き続き下落して取引を開始したが、徐々に売り圧力は弱まり、指数は反発していった。
- 金融サービス、素材セクターが相場をけん引した一方、不動産セクターが相場の重しとなっていた。
- 売りが入る場面もあったが、引けにかけて買いが集まり、指数は反発して取引を終えた。
- 不動産を除くすべてのセクターが上昇した。
- 319 銘柄が上昇、177 銘柄が下落、71 銘柄は変わらずと幅広い銘柄が買われた。
- 流動性はわずかに低下し、売買代金は 13 兆ドンに留まった。

VN30 指数も同様に反発 (VN30 +1.18%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 22 銘柄が上昇、7 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずとなった。
- VJC (+5.45%) と SSI (+5.44%) は 5% を超える大幅高となった。
- 一方、MWG (-6.90%) はストップ安まで下落した。

セクター・個別株の動き

- 航空業界の回復を反映し、ACV (+0.14%) は好業績を発表した。第 3 四半期の売上は 5.32 兆ドン (前年同期比+27%)、純利益が 2.76 兆ドン (同+15%) となった。
- 子会社の増資を承認した KBC (+4.71%) が高い。子会社の Trang Cat One Member Urban Development 社の資本が 6.05 兆ドンから 12.68 兆ドンに増加する見込み。
- 外国人投資家は 785 億ドンの売り越しとなった。VHM と MWG が大幅に売り越されていた。一方、VIC と HPG は主な買い越し銘柄だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。